



テーマ  
Theme

ものづくりの現場に学ぶ  
(進路学習)

学校名  
School  
name

米原市立米原中学校(1年生)

講師等  
Lecturer  
etc.

株式会社コクヨ工業滋賀

実施日  
Date

平成27年3月18日

教科等  
Subject

総合的な学習の時間

授業  
Class



今回の校外学習は、コクヨ工業滋賀の工場で実施されました。甲子園3個分の敷地面積のこの工場では、ノートが年間1億冊以上作られています。生産量日本一の工場の見学をさせていただき、2年生で職場体験をする生徒たちに、会社ではどんなことを考えながら仕事をしているのかなどのお話を、クイズ等を交えながら丁寧に説明していただきました。まず、ものづくりの会社として大切にされているのが、「買う身になって作りましょう」という創業当時からの変わらない考え方です。ひと手間かけながらもお客様のために、どんなノートが必要かどんな商品が望まれているかを考え、世の中の役に立ちたいと常に良い商品づくりを考えておられます。環境に対しても琵琶湖を有する滋賀県に立地している企業として、非常に強い意識で琵琶湖を守る行動や工場から出るゴミをなくす努力をされており、真摯に良いものづくりをする世界一の工場を目指しているということです。工場内では、丸く巻かれた大きな紙からノートになっていく様子や印刷のズレをチェックする様子等を見学し、他にもノートを綴じる糊づけの強度実験等を実際に見て、こだわりを持った生産活動を知りました。最後に、講師の方は「ノートは、大切なことを書いていただくことから、皆さん(お客様)の価値に代わるものだと思っており、会社では1冊1冊丁寧に大事に作らせてもらっています。そして、今日は製造業としてこの会社を見学していただきましたが、『ものづくりっておもしろいな』と思ってもらえたら嬉しいです。」と話されました。

感想

Impression

### 生徒の感想 Impression from Children

- 今日は、大変良い経験が出来ました。日本で最大数のノートを作っている工場は大きかったし、たくさんの機械は音もすごくて迫力がありました。ただノートをつくる工場だと思っていましたが、琵琶湖のヨシを使っていたり、滋賀県ならではの環境を想う取り組みなどをしていて、カッコいいな、すごいなと思いました。
- 特に、工場から出るゴミが再利用されていることにとってもびっくりしました。紙の切れ端も丁寧に取り集め、さらに色がついている紙と色がついていない紙で分けていることも初めて知りました。
- コクヨではちょっとしたひと手間を加えることで、買う側の気持ちを考えてくれていると知りました。私は、ノートに不満なんて一つもありませんし、大切に作られているノートをこれからも大切に使っていきます。職場体験でも、今日教わったことをいかして人の役に立てるよう頑張ります。

### 学校より Impression from school

事前の下見も含めて、担当の方には丁寧な対応をしていただき、感謝しております。製品づくりの現場を実見するとともに、レクチャーや体験学習を含めたセットプログラムは、生徒たちにとって学ぶところが多かったのではないのでしょうか。すばらしい機会をいただきました。

### 講師より Impression from lecturer

生徒の皆さんの感想文からも、もの作りの仕事についてのこだわり、環境への配慮を理解していただき、また日頃お使いいただいているノートに愛着を感じてもらえたことは、当社として嬉しいことです。生徒の皆さんが、楽しく学んでいただけた事は良かったです。

### ～メッセージ～

職場体験学習は、社会人の中で一つの役割を与えられながら学ぶ体験の事です。将来を見据えて、何を学びたいか、まず目的を定めた上で臨んでいただきたいと思います。そして、挨拶は、社会人が大切にしていることで、インターンシップの高校生はしっかり挨拶をしてくれます。皆さんも、今から練習をしてください。